

『スポーツウエルネス学学位プログラム』の目指すもの

筑波大学の教育体制が大きく変更され、大学院は学位プログラム化されまして、スポーツウエルネス学学位プログラムとしてスタートしています。本学位プログラムは、延期された 2020 東京オリンピック後のレガシーにも貢献できる我が国のスポーツとウエルネス（健康）領域の高度人材の育成を目的としています。また、学生の皆様のニーズに応えられるように、修士（前期）と博士（後期）の 2 課程を用意しています。それぞれの課程の教育・研究を通じて、超高齢社会において生じる様々な社会課題を克服するための社会技術の開発とそれを支える高度職業人を養成することを狙っています。

レガシーとして重要なのは、国民がスポーツを通じて如何に生活を充実させられるか、スポーツにより地域の活性化に如何に貢献できるか、そして今後 2040 年まで我が国の超高齢化による健康問題から生じる様々な社会課題（医療・介護・社会保障など）を克服するための社会技術を開発できるかが求められるわけですが、本学位プログラムは長年にわたってスポーツと健康を融合した教育・研究体制が構築されてきたため、我が国でも最もこの領域に貢献できる教育・研究体制が組まれていると自負しております。

このように、今日、健康の価値はますます重要視され、そこへのスポーツの有意性が大きく認められており、これらの政策効果を高めるための人材育成は大変重要となります。そのためには、それぞれの課題を解決できる実務的な方策が必要であると同時に、各種経営資源の調達から、その維持・管理・運営、そして新たなビジョンの開発といったプロモーションやマネジメントが適切になされることが重要となります。

本学位プログラムでは、21 世紀における健康に対する新たな認識と、その実質的価値を高めるスポーツを改めて統合し、「人間的生」の充実に向けた問題解決と実社会における具体的目標実現のために、これまで先鋭化・個別化することによって進化してきた学問、また個人に主体を置いた視点と方策によるスポーツ推進等について改めて考え直します。そして、トータルなプロモーション的視点で広域的な組織展開を図るためのシステムを開発し、専門性を有したマネジメントを担当する高度職業人としての人材を育成しながら、その課題に対応することを目指します。

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程・後期課程